

總務	會計監查	年金委員長	類似宗教対策委員長	平和統一宣教委員長	神學委員長	試取委員長	憲法委員長	人事局長	財政局長	青年局長	婦女局長	社會局長	教育局長	弘道局長	副書記	書記	副總會長	副總會長	總會長
姜金	沈金	金朴	朴金	金榮	黃義	尹宗	崔昌	金君	張鐘	朴壽	慶惠	金桂	朴憲	李聖	文忠	崔正	許唱	李大	金君
榮英	秉九	安鴻	米雄	榮植	義生	宗銀	昌華	君植	鐘善	壽吉	惠重	桂昊	憲郁	聖柱	忠奉	正剛	唱業	大京	君植
一世	魯鐘	植弘	雄植	植	生	銀	華	植	善	吉	重	昊	郁	柱	奉	剛	業	京	植

『戦後50年と シヤロームの実現のため』

第四回外登法国際シンポジウム開く



シンポジウムに参加した日・韓・在日の代表者たち

去る11月21日から23日に
かけて、第4回外登法問題
国際シンポジウムが、戦
後処理、戦後補償と在日韓
国・朝鮮人の人権という
主題のもと、韓国基督教
会協議会人権委員会、韓国
教会在日同胞人権宣教師協
会、日本キリスト教協議会
在日外国人の人権委員会、
外登法問題と取り組む全
国キリスト教連絡協議会の共
催で、60名(内25名が日本
・在日の参加者)が参加し
韓国ソウルの漢江ホテルに
おいて開催された。「解放
後50年」をむかえる199
5年を前にして、さまざま
な提言がなされ、刺激があ
るシンポジウムであった。
金桐泰牧師(イエス教長
老教会前総会長)のメッセ
ージを受けた。

各主題講演では、在日同
胞が意味のある隣人として、
どのように日本人と接して
いくのか、など積極的民衆
意識の形成と共生社会に向
けた力量の構築が必要(在
日側)、今後、韓国と在日の
同胞は民族的事業に共同で
参加する道を開かねばなら
ない(韓国側)、基本的人権
が守られる社会を整えてい
くことが、日本社会にある
教会の役割である(日本側)
ということなどがそれぞれ
語られた。その後、三つに
分かれての分科会協議(①
戦後処理、戦後補償と在日
韓国・朝鮮人の人権②自由
人権規約と少数民族の権利
地方自治、共生社会の実現
③戦後50年とシヤロームの
実現、少数者権益運動の省
察)をへた後、最終日の全
体討議の場において「第4
回外登法問題国際シンポジ
ウム共同声明」が採択され
大津健一牧師(日本キリス
ト教協議会総幹事)のメッ
セージによる閉会礼拝をも
つて3日間のプログラムを
終えた。

その他、シンポジウムの
参加者は、韓国挺身隊対策
協議会主催で毎週水曜日に
行なわれている、日本大使
館前の元日本軍「慰安婦」
への日本政府の公式謝罪、
個人補償を要求するデモン
ストレーション(第144
回)に参加し連帯のアピ
ールなども行った。

共同声明では、「1980
年代以降、全国規模で闘わ
れてきた指紋捺捺撤廃運動
によって、外国人管理を目
的とした指紋制度がいかに
人権侵害をするものである
かが明らかになり、その運
動によって従来通りの指紋
制度の存続を断ち切ること
ができた。このことはまた、
日本国内の粘り強いエキュ
メニカル運動と韓国教会を
はじめとする世界のエキュ
メニカル諸団体との連帯に
よる成果だったと言える。
しかし、指紋捺捺制度が撤
廃されたといっても、それ
は、永住者にだけ適用され
たにすぎず、その他の在日
・滞日外国人には従来通り
指紋採取が行なわれており、
他方、指紋捺捺がなくなら
ない永住者に対しては、署名
制度・家族制度・精密な写
真を義務づけることによっ
て、管理状況をより堅固に
されていることが明らかで
あり、それらの未解決の課
題は日韓両教会が引き続き
取り組むべき課題である。

また、日韓両教会におい
て、外国人労働者の増加が
顕著であり、両国内におけ
る外国人の基本的な人権保障
や民族差別の撤廃は必須の
課題である。すべての在日
・滞日外国人と日本人とが
地域社会を共に構成し、共
に福祉を享受しあうことを
目指すことは、これまでの
脱皮のために不可避の課題
であると共に、今後の韓国
社会にとっても重要な視点
であった。

聖經要理問答書とその講解 ②9

墮落させた罪とは (1)

尹 宗 銀 牧師 (横浜教会)

【講解】
神は人を無罪の状態に創
造された(付録Aを参照)
その人は知識と義と聖にお
いて神の真のかたちであっ
た。しかし彼はそのように
祝福された状態に確固不動
ではなかった。神はわたし
たちの始祖たちの前に二者
択一の道をおかれた。この
一方には完全な服従の道で
この道は永遠の生命に至る
唯一の道である。パウロは
「律法を行なう者は律法によ
って生きる(ガラテヤ3:12)
」と言っている。しかし
もう一方には不従順の道が
あった。そしてこの道はた
だ死に至る道であった。

神はアダムに善と悪を知
る木に關して次のように言
われた。「善悪を知る木か
らは取って食べてはならな
い。それを取って食べると
きつと死ぬであろう。」(創
2:17)と。これこそわた
したちの聖經要理問答書の中
で、わたしたちの聖經要理
問答書の中で、わたしたち
の始祖たちが「意のままに
自由を行使する」ようにな
ったというとき、注意深く
考えねばならない点である。
これはわたしたちの始祖た
ちが二つの重要な事を所有
したことを意味する。

(1) 第一に、彼らは服従の
道を選んで生命に至るか、
さもなければ不従順の道
を選んで死に至るかそのど
ちらを選ぶべき「自由」を
もっていた。彼らはこの道
を選ば、あるいはあの道
を選ぶかにおいてだれひと
り強要しなかったため、彼
らは完全に「自由」をもつ
ていたと言えらるのである。
サタンでさえ彼が欲してい

たことをわたしたちの始祖
たちに強要することができ
なかった。サタンはただ彼
らを誘惑することだけであ
った。サタンは自分自身の
欲望によって自分が欲して
いることを行なうように誘
うことしかできなかった。

(2) 第二に、わたしたちの
始祖たちは二者択一の能力
をもっていた。換言するな
らば、彼らは(神が能力を
もって彼らを創造されたか
ら)善を行なうか、または
悪を行なうか、どちらかを
行なえる力を彼ら自身のう
ちにもっていた。わたした
ちの聖經要理問答書を更
に研究して行けばもっとは
っきりされて来るであろう
が墮落した結果完全に喪失
してしまったものは善を行
なうか、悪を行なうかを正
確に判断する力と能力である。
最初に罪を犯した後にア
ダムと彼の後継子孫たちは善
あるいは悪を行なうのに自
由にはとどまっていたが、
如何なる善をも行なえる力
はもたあわせていないので
ある。

このような意味から見た
場合、わたしたちは、彼ら
が本来もっていた「彼ら自
身の意志の自由」を失って
しまったと言わなければな
らない。もしもわたしたち
が「人が自由な意志をもつ
ている」と言うならば、人
が自分以外のある事物か、
ある人から悪を行なうよう
に強要されてないという意
では正しいと言える。しか
し墮落した状態にある人間
がなお依前として善を行な
う能力ももっていると言
う意味では正しくない。なぜ
なれば「善を行なう者はい
ひとりもない(ローマ3:12)
」と証言しているからで
ある。

中部地方会

会 長	黄 生
副 会 長	朱 洪
書 記 長	朴 永
副 書 記 長	張 鍾
副 会 計 長	金 英
会 計 長	朴 茂
伝 道 部 長	李 應
教 育 部 長	李 桂
社 会 部 長	金 文
婦 女 部 長	朱 永
青 年 部 長	金 秀
会 計 監 査 長	李 尚
会 計 監 査 員	金 美

祝 聖 誕

会 長	尹 宗
副 会 長	李 俊
書 記 長	柳 尚
副 書 記 長	金 柄
副 会 計 長	金 慶
会 計 長	金 鍾
伝 道 部 長	尹 憲
教 育 部 長	朴 相
社 会 部 長	鄭 惠
婦 女 部 長	鄭 然
青 年 部 長	尹 宗
治 理 部 長	李 仁
試 取 部 長	金 太
会 計 監 査 長	金 廣
会 計 監 査 員	金 照



◆平和統一主日 礼拝
우리는 韓半島の 平和
統一을 이루어내기 위해
끊임없이 하나님께 祈禱
하고 있다.
하나님은 分裂을 願하
지 않으신다. 주님의 正
義를 証言하고 平和를 이
루어 내는 일에 誠實해
질수 있는 信仰告白으로
信仰一致가 우선.



◆青年会定期協議會
青年會는 解放後 50年
을 向해 出發, 在日同胞
共同體의 創造를 進어지
는 青年會의 活動을 開
示하였다.
未來의 在日大韓教會의
主人이 되기 위해 勇무
膽치고 있는 그들의 宣
敎的 活動에 期待를 걸
고 사랑의 応援을



◆全國教會女性連合會
全國教會女性連合會의
第46回 定期大會를 開催.
「在日의 어머니의 役割
을 確認하고 高齡化社會
를 맞이한 教會의 役割
을 深度있게 論議한 大
會였다.
우리 女性會는 信仰의
基盤위에 確固히 立脚을
每年 다짐한다.

◆全國高校生修養會
이들에게는 在日의 意
味를 아지는 모른다고 하
자. 하지만 信仰 안에서 自
身의 問題, 특히 生活의 問
題로 葛藤을 한다는 것
은 成長을 하기 위한 勇
氣가 아닌가.
올해에도 우리 教會에
속해 있는 高校生은 信
仰으로 成熟하였다.



◆마이노리티 國際會議
第2回 마이노리티 問
題와 宣敎戰略 國際會議
가 20年만에 開催되었다.
21世紀의 國際社會와 마
이노리티 役割을 主題로
열린 이 會議은 世界的
인 마이노리티의 連帶를
위해 京都聲明書를 採択
하는 一 重要한 契機로
우리 教會의 百戰百勝
을 實感.



◆外登法 國際심포지움
戰後處理, 戰後補償과 在
日韓國·朝鮮人의 人權의
主題로 모여, 自由人權規
約과 少數民族의 權利,
地方自治, 共生社會의 實
現, 戰後 50年과 社會의
實現이라는 題目으로 討
論, 在日同胞에게는 이 땅
을 하나같이 指示하신명
이라고 告白

하나님은無秩序의하나님이 아니라
平和의하나님이십니다

1994年の
이런런
이저



◆外基協集會 開催
第8回「外登法と取り組
む全国キリスト教連絡協議
會」が 宣敎課題로서의外
登法 問題の 主題로 카
톨릭교와야 일하는 사
람
의 집에서 開催.
치마·저고리가 찢기고
있는 日本生活에서 共生社
會의 모델을 찾기 위한
具體的 協議에 期待.

◆總會立 神學校 設立을
推進
總會내에 總會立 神學
校設立準備委員會를 組織,
在日同胞의 宣敎를 積極
的으로 하기 위해 設立
을 推進하기로 하였다.
특히 在日同胞의 神學을
定立하여, 우리의 神學
을 세우기 위한 것이기
도 하다.



◆日本教團과의 宣敎協約
10周年 記念式
宣敎協約 締結 10周年
記念式이 神戶教會에서 開
催. 兩教團間의 宣敎經驗
을 發展시켜 아세아의 人
權과 平和를 建設해 나
가는 方法, 그리고 在日
韓國·朝鮮人이 日本 땅에
서 共生할 수 있도록 宣
敎的 課題를 찾아 總力
을 기울여야 한다.

◆東京會議 開催
第四回「祖國의 平和統
一과 宣敎에 관한 基督
者 東京會議」을 日本韓國
YMCA에서 開催.
「民族의 和解와 大團結
을 위한 教會의 課題로
모인 會議, 韓國 民族이
무엇인가. 韓民族이 共存
하는 平和統一은 언제오
려는가.



◆가나教會와 宣敎協力
가나教會와 宣敎協력을
하기로 合意, 信徒 10余
萬으로 組織되어 있는 教
團이나 兒童敎育, 醫療活
動, 飢餓問題等 敎育과 社
會 宣敎에 注力을 다하
는 教團이다.
또한 미국 그리스도聯合
教會와 宣敎協約을 맺기
로 合意도 하였다.

◆敎役者·長老研修會
21世紀의 敎會 在日大
韓基督敎會의 오늘과 내
일의 主題로 開催.
戰爭, 分裂로 치닫는 요
즈음의 世界에서 信仰人
은 서로 나누며 함께 살
기 위해 일하는 敎會의
모습을 갖추어야 만이 21
世紀의 敎會像, 코이노니
아의 敎會가 된다.



青年會全國協議會			
代表委員	田光浩	總務	徐潤光
書記	姜地夏	副書記	姜地夏
研究部長	李相勳	研究部長	李相勳
宣道部長	李正祐	宣道部長	李正祐
出版部長	李忠正	出版部長	李忠正
財政部長	李金相	財政部長	李金相
財政部長	金愛利	財政部長	金愛利

外登法の抜本改正を求める 一・一四集會			
外登法問題と取り組む全国キリスト教連絡協議會(外基協) では、在日韓国人問題を教會の宣敎の重要課題として受けと め、解放(日本敗戦)後五十年を迎えて、第九回目的の全國集 會を開きます。			
○大衆集會 日時：一九九五年一月十四日(土)午後一時 場所：日本バプテスト連盟白ヶ丘教會 説教：中嶋正昭牧師(日本キリスト教協議會議長) ひとり芝居：宋富子さん(在日大韓基督敎會執行部「身 世打鈴」)			
○全國協議會 日時：一九九五年一月十二日午後二時～十四日 場所：日本キリスト教協會館 4F (主催) ○外登法問題と取り組む全国キリスト教連絡協議會 ○外登法問題と取り組む関西キリスト教代表者會議 ○外登法問題と取り組む北海道キリスト教連絡協議會 ○外登法の抜本的改正を求める関東キリスト教連絡協議會 ○外登法の抜本的改正を求める神奈川キリスト教連絡協議會 ○外登法問題と取り組む中部キリスト教連絡協議會 ○外登法問題と取り組む近畿キリスト教連絡協議會 ○外登法問題と取り組む四国キリスト教連絡協議會 ○外登法問題と取り組む広島キリスト教連絡協議會 ○外登法の抜本的改正を求める九州・山口キリスト教連絡協 議會 (事務局) ○在日韓国人問題研究所内(☎〇三三三・〇三七五七五)			

祝聖誕											
西南地方會											
會長	李根秀	副會長	崔華秀	書記	申剛藏	副書記	崔正德	會計	宋幸聖	宣道部長	李聖昌
教育部長	金昌聖	社會部長	崔金華	婦女部長	崔金華	青年部長	金榮聖	會計監查	金秉滋	會計監查	李安
副會長	李根秀	副會長	崔華秀	書記	申剛藏	副書記	崔正德	會計	宋幸聖	宣道部長	李聖昌
教育部長	金昌聖	社會部長	崔金華	婦女部長	崔金華	青年部長	金榮聖	會計監查	金秉滋	會計監查	李安
副會長	李根秀	副會長	崔華秀	書記	申剛藏	副書記	崔正德	會計	宋幸聖	宣道部長	李聖昌
教育部長	金昌聖	社會部長	崔金華	婦女部長	崔金華	青年部長	金榮聖	會計監查	金秉滋	會計監查	李安
副會長	李根秀	副會長	崔華秀	書記	申剛藏	副書記	崔正德	會計	宋幸聖	宣道部長	李聖昌
教育部長	金昌聖	社會部長	崔金華	婦女部長	崔金華	青年部長	金榮聖	會計監查	金秉滋	會計監查	李安
副會長	李根秀	副會長	崔華秀	書記	申剛藏	副書記	崔正德	會計	宋幸聖	宣道部長	李聖昌
教育部長	金昌聖	社會部長	崔金華	婦女部長	崔金華	青年部長	金榮聖	會計監查	金秉滋	會計監查	李安
副會長	李根秀	副會長	崔華秀	書記	申剛藏	副書記	崔正德	會計	宋幸聖	宣道部長	李聖昌